

岐阜市と連携

岐阜市立岩野田小学校で水害の防災講座を行いました

令和8年6月10日（水）、岐阜市と連携し、岐阜市立岩野田小学校で5年生51名に水害の防災講座を行いました。6月5日地震の講座に続き、今年度2回目です。

講座では、伊勢湾台風や岩野田地域でも甚大な被害があり今年で50年の節目を迎える9.12豪雨災害など過去に発生した水害を学習しました。学校の南門付近には浸水表示板が設置されており、末洞川氾濫により岩野田小学校も浸水しています。特に、9.12豪雨災害当時の岩野田地域の被害写真を見た児童たちは、身近に感じたようでとても驚いていました。

その後、岐阜市危機管理課の職員により、各自タブレット端末を使って、岐阜市の浸水ARアプリ「みずくる」で自分の地域の想定される浸水深・避難所などを確認しました。

また、当協会は、ダム・遊水池の役割など流域治水について模型で説明しました。

児童からは「9.12豪雨災害を色々知れて良かった」「災害の時の避難経路を確認しておくことが大切」などの感想がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。なお、当日は、中日新聞の取材がありました。

